

月間市況等報告集計表(5年10月分)

1. 生鮮食料品等の市況

富山中央青果株式会社

(1) 市況の概要

※. 入荷数量=t 比=% 平均単価=円

種類	市況の概要	入荷数量	前年同月比	kg当り 平均単価	前年同月比
			前月比		前月比
野菜	10月は、各産地で前月までの高温・干ばつの影響が尾を引いた入荷・販売となった。また、産地の切り替わり時期でもあり、前段産地の切り上がり及早まった事と、後続産地の播種・定植遅れの影響により出荷量も増えず、端境となる品目も見られた。また、天候不順の影響から、多数の品目で作柄不良などが多発した結果、価格高騰した品目が目立った。	2,034	109%	230	98%
			122%		93%
果実	国内果実は猛暑により、リンゴ・梨・柿の方が日焼け果や内部障害が発生し、入荷減・単価高で推移した。みかんは極早生の販売であったが、酸抜けも良く、食べやすいため順調な販売であった。全体的に小玉傾向であり、前進出荷であった。	1,086	103%	292	100%
			125%		86%

(2) 主要品目の市況

※. 入荷数量=t 比=% 平均単価=円

主要品目	市況の概要	入荷数量	前年同月比	kg当り 平均単価	前年同月比
			前月比		前月比
野菜	だいこん 富山県産新川の販売で作柄も良く太物中心の流れ。例年と比べても高値で推移。	238	96%	127	106%
			218%		81%
	はくさい 長野産は高温・干ばつにより出荷が例年より遅れ、終了も早かった。関西の引きが強く相場は高値を維持していた。	86	83%	110	133%
			261%		98%
	キャベツ 群馬産の出荷終了に伴い、茨城産・愛知産を使用。群馬産終了間近は他産地の出方も悪くなく、後続産地へスムーズにつながった。但し加工筋のキャベツの引きが強いため月後半は相場高め。	220	144%	114	148%
105%			143%		
馬鈴薯 北海道産の販売。玉流れはL中心。全道で発芽が多い状態	181	168%	96	91%	
		187%		68%	
果実	たまねぎ 北海道産の販売。玉流れはL大中心。上旬は品質が改善、下旬は数量減少し値上がり	532	135%	108	119%
			111%		126%
	極早生みかん 和歌山中心の入荷。食味や品質も良く、堅調な販売で推移した。	275	113%	240	101%
			655%		81%
	つがる 夏場の高温で日焼け果や生理落下が多く、早期で終了。	7	233%	268	148%
78%			64%		
アールスメロン 静岡さんアローマ秋系に切り替わり、品質は良好。中・下旬にかけ、6玉8キロ台中心の見込み。熊本産アールメロンの出荷量は前年をやや下回る。3L中心の販売。	3	150%	634	106%	
		150%		118%	
刀根早生柿 本年は猛暑により、内部障害は日果実の多発により、産地の方でイタミが目立った。数量減・単価高で推移した。	57	86%	329	110%	
		713%		79%	
バナナ 安価なレギュラーバナナの数量が増え、全体的に単価安で推移した。日本国内の総数量は前月よりも増加傾向であった。	322	115%	180	94%	
		114%		91%	

2. 取扱品目の卸売実績

(金額:税込み)

種類	数量(kg)			金額(円)			
	受託	買付	計	受託	買付	計	
野菜	一般野菜	996,537	1,037,695	2,034,232	307,353,764	198,858,631	506,212,395
	加工野菜			0			0
	花き						
	その他						
	冷凍食品						
計	996,537	1,037,695	2,034,232	307,353,764	198,858,631	506,212,395	
果実	一般果実	385,277	701,069	1,086,346	149,818,869	192,485,802	342,304,671
	加工果実			0			0
	その他						
	冷凍食品						
	計	385,277	701,069	1,086,346	149,818,869	192,485,802	342,304,671
合計	1,381,814	1,738,763	3,120,577	457,172,633	391,344,433	848,517,066	